
32220001
イジユン

1810011
秋山一馬

1810107
海林拓磨

1810167
鍵谷直輝

Detour

寄り道するカーナビ




運転手の楽しい運転体験のために
会話しながら
ドライブコースを教えてくれる
寄り道カーナビシステム







A first-person perspective from the driver's seat of a car. The driver's hands are on the steering wheel. The car is on a paved road lined with trees, with sunlight filtering through the leaves, creating a warm, golden glow. The side mirror is visible on the left. The text is overlaid on the left side of the image.

30分の近道より
価値ある1時間




運転する楽しさ



車を単なる移動の「手段」ではなく、
「**娯楽**」として見られないか

仕様と提案手法

- ① 運転手のレベルに適したドライブコースの提示
- ② コミュニケーションシステム



運転手の レベルに適した ドライブコース の提示

提案手法

- ・ **景観の良さ**や**運転のしやすさ**の観点から
ドライブコースを設定

→Googleの検索結果やドライブコースアプリなどから流用

- ・ 運転の難易度をドライブコース別に設定する

→現状、開発側の主観で決めることになってしまう

(検討の余地あり)



提案手法つづき

- ・目的地を設定したとき、**運転手の技能レベル**に適したドライブコースを提示する

→出発地と目的地の二点を通るコースを、すでに設定済みのコースから検索し表示する

→運転手の技能評価は、**OBD2**により取得したデータから行う



コミュニケーションシステム

提案手法

- ・カーブ時やブレーキ時など、技能を**逐一評価**する
→OBD2から取得したデータをもとに、基準を設けて技能評価する
(または、後述する類似アプリからデータを取得する)
- ・技能評価や、運転手の発言に**音声で反応**する
→技能評価用の音声とチャットボットを併用した
会話システム

サービスのメリット・競合サービスとの相違点

- ・どこからでも、どこにいても**気軽に**ドライブに出かけられる

- 既存のサービスで提示されているドライブコースでは、結局そこに行くまでに平凡な運転を強いられる

- ・運転手のレベルに適したコースを走ることができる

- 既存のカーナビのような、目的地のみを考慮したコース設定では得られなかった「**走りやすさ**」が得られる

・技能評価の **リアルタイム性** と **相互性**

→ソニー損保の「GOOD DRIVING」や、Microsoftの「HAMS」など、正確な技能評価が割り出せるシステムはいくつかすでに存在している

→いずれも評価は「運転終了後」であり、運転中にはフィードバックが得られない上、運転手側からの疑問等に回答できない

→音声AIを利用することによって、相互に **リアルタイムにコミュニケーション** をとることによってこれらの課題を解決

今後の展望



実装全般

- ・ドライブコースの難易度設定の手法についての議論
- ・マップに設定済みコースを提示する手法についての議論
- ・OBD2を用いたドライブデータ取得方法についての学習システムの試作
- ・AIを用いた会話システムについての学習・システムの試作